

「親子ですすめる人権学習」



園

部小学校では、毎年世界人権デーに合わせて、「親子人権学習」を行っています。この人権学習は、学校とPTA人権委員会が協力し、子どもたちの関心や今の課題を考えながら、学年ごとに工夫した取り組みとなっています。

昨年度の取り組みを紹介すると、1年生は「親子自己紹介すごろく」、2年生は「人権カルタの作成」、3年生は「聴覚障がい者の方の講演とあいさつの手話」、4年生は、「車いす体験」、5年生は「『命くせい』いっぱい生きる」のDVD鑑賞」、6年生は「講演『携帯電話・パソコンでのメールやインターネットの使い方』」などを行いました。

学習後の子どもたちは心温まる感想を寄せています。一部を抜粋し、紹介します。

入

権のカルタを作れてよかったです。みんなのカルタは、やさしい言葉のカルタです」(2年生)、「一番心に残っているのは、今日、勉強した手話です。手話はすごくて魔法のようだと思いました」(3年生)、「乗っている人はどんな風に思っ

心

ているのかを考えて、車いすを動かしました」(4年生)、「私は、携帯電話やインターネットを使っておもしろ半分で人を傷つけることをしないようにする。自分も傷つくとと思うから」(6年生) だんの子どもたちとの会話の中で、「私の名前な、優しい、思いやりのある子に育ってほしい」と思っている名前をつけはったんやて」と聞くことがあります。子どもたちの心豊かな成長を願うのは、親として、昔も今も、変わらない願いでしょう。 子どもたちが人権学習を通して学んだことを日常生活に生かし、自分も人も大切にして成長できるように、今後も保護者や地域と連携して人権教育を進めていきたいと思えます。



▲人権カルタ(左)と子どもたちの良いところを書いたカード(右)

(園部小学校 人権教育主任

河村 尚江)

環・境・市・民

〜感激!〜

エコ発見

エコちゃん

—第16回—



市内で発見した感激のエコ活動を紹介します。

南丹市の環境を考える『環境ウオーキング』が10月2日「南丹市の環境を守り育てる会」の呼び掛けで行われました。

出発点の日吉ダムでは堤体内を見学しながらダム完成までの37年間のいきさつや工事の様子、ダムの役割と仕組みを学びました。



その後、府民の森ひよしの「観察の森」を散策し、実際の森の様子を観察しながらナラ枯れ、マツ枯れの実態や森が直面している問題とそ

今回のエコリスト

嶋岡節子さん

(園部町小山東町)



「ナラ枯れの様子を見て、対策が必要だと感じました。家にいたら他人事になってしまいますが、今日実際に見て、気付くことができました」

片山紀子さん

(日吉町胡麻)



「夫婦で参加しました。木々が枯れているのは辛いなあと改めて思いました。日吉ダムもいろいろな事情が分かりよかったです。新たな発見がたくさんありました」

(環境課)